

救急現場へのスマートフォン導入による搬送時間の短縮

保健医療部 医療整備課

1. 取組の背景

- ▶ これまで、タブレット端末を活用した救急医療情報システムの導入など様々な取組を行った成果もあり、搬送先が決まらない「搬送困難事案」は大幅に削減
- ▶ 過去10年以上伸び続けていた搬送時間も初めて短縮

→ 更なる改善を目指す

2. 取組の概要

- ▶ 救急医療情報システムにスマートフォン対応機能を追加
- ▶ 「病院を探す」→「そのまま電話」→「簡易に結果入力」が可能
- ▶ 情報のリアルタイム性も向上し、無駄な照会が削減

→ 搬送時間の短縮を図る

3. もしカフの視点

①コスト削減の工夫

- ・スマホ導入の予算がない中で、交渉によりコストを掛けずにスマホを導入

②顧客の視点に立った“商品”開発

- ・システム開発時に消防職員の意見を最大限に取り入れ

③営業努力

- ・理解が得られるまで何度でも足を運び売り込んだ結果、全消防本部がスマホを導入

4. コスト対効果

コスト 1, 430万円 [システム開発費用480万円+職員人件費(想定)950万円]

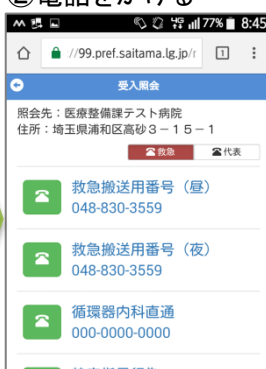
効果 照会回数削減 → 搬送時間短縮 → 救命率の向上、後遺症の軽減

《スマホシステム画面イメージ》

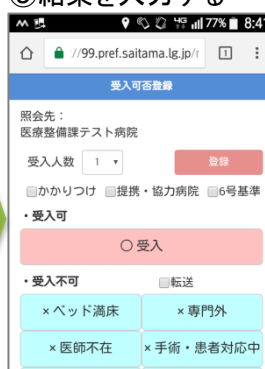
①病院を探す



②電話をかける



③結果を入力する



④情報を瞬時に共有

